

第7回 外国人居留地研究会2014全国大会 横浜大会

開国160周年 日本近代化の扉を開く

平成26年10月4日(土)・5日(日)

会場：横浜市開港記念会館(中区本町1-6)



明治中期の山下居留地 80 番付近 (横浜開港資料館所蔵 彩色写真)

平成26年
10/4
土

講演と音楽

横浜と音楽

協力：フェリス女学院大学

平成26年
10/5
日

シンポジウム

租界と居留地

協力：神奈川大学

史跡巡り

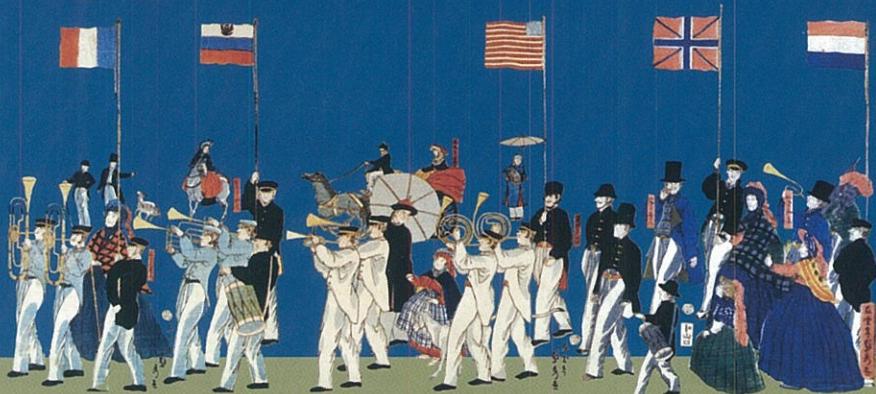
山下・山手居留地、
中華街を歩く

協力：学校法人

横浜山手中華学園

NPO 法人

横浜シティガイド協会



五雲亭貞秀 画「横浜鈍宅之図」(横浜開港資料館所蔵 錦絵)

主催：全国外国人居留地研究会横浜大会実行委員会

(横浜外国人居留地研究会／神奈川大学非文字資料研究センター租界班)

共催：外国人居留地研究会全国会議／横浜市中区役所

後援：横浜市都市整備局／横浜市教育委員会／横浜開港資料館／神奈川新聞社／(N)K横浜放送局／横浜観光コンベンション・ビューロー／
公益社団法人横浜歴史資産調査会／山手歴史文化研究会／公益財団法人かながわ考古学財団／株式会社ジェイコムイースト横浜テレビ局

中区活動団体補助金対象事業

第7回 外国人居留地研究会2014全国大会 横浜大会

開国160周年 日本近代化の扉を開く

平成 26 年
10/4 土

横浜と音楽

(会場：横浜市開港記念会館 講堂)

ご挨拶..... 13:00 ~ 13:10

第1部 講演 13:10 ~ 15:10

居留地のアマチュア音楽家たち

斎藤多喜夫 (横浜外国人居留地研究会会長)

横浜外国人社会の現代史—戦争・革命・音楽

大西比呂志 (フェリス女学院大学教授)

横浜の西洋音楽：宣教師の教え給いし歌

秋岡陽 (フェリス女学院大学学長)

第2部 音楽 15:30 ~ 16:00

ピアノ演奏 Improvisation in Yokohama

落合敦 (フェリス女学院大学教授)

合唱 Jesus Loves me(主われを愛す)/赤い靴/港が見える丘/花の街~夏の思い出~ちいさい秋みつけた/愛 (La carita, ロッシーニ)

フラウエンコーア

(フェリス女学院大学音楽学部・声楽アンサンブル)



フラウエンコーア (BS-TBS「日本名曲アルバム」より)

懇親会..... 18:00 ~ 20:00

会場：菜香新館

【費用】 資料代 (大会プログラム・横浜まち歩きマップ・シンポジウム資料)：950円 / 懇親会：6,000円

【申込み方法】 参加希望項目 (A横浜と音楽 / Bシンポジウム / C懇親会、複数可) と参加人数・住所・名前・電話番号 (複数の場合は代表者のみ) を明記のうえ、Eメールの場合：yokosettle@yahoo.co.jp

郵送の場合：往復葉書で返信宛先を記入して、

〒231-0023 横浜市中区山下町2 産業貿易センタービル4F 中区福祉保健活動拠点 気付「横浜外国人居留地研究会」

9月10日メ切 (郵送の場合、消印有効) 定員：A横浜と音楽 200名 / Bシンポジウム 80名 / C懇親会 80名。

応募多数の場合は抽選、定員に達しない場合は随時受付。大会当日は返信メールか返信葉書を受付にご提示ください。



①横浜市開港記念会館

横浜市中区本町1-6

TEL. 045-201-0708

アクセス

●JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から
徒歩10分 (約700m)

●市営地下鉄線「関内駅」1番出口から
徒歩10分 (約700m)

●みなとみらい線「日本大通り駅」1番出口から
徒歩1分 (約50m)

※バスの場合は「本町1丁目」「日本大通り駅・県庁前」

②菜香新館

横浜市中区山下町192

TEL. 045-664-3155

平成 26 年
10/5 日

シンポジウムと 史跡巡り

第1部 シンポジウム (会場：横浜市開港記念会館1号室)

「租界と居留地—都市と建築の視点から—」..... 9:15 ~ 11:45

中国における日本租界がたどった道

大里浩秋 (神奈川大学教授)

横浜居留地の初期洋風建築について

内田青蔵 (神奈川大学教授 / 非文字資料研究センター長)

上海港湾研究—水先案内人 (PILOT) 協会を事例として

孫安石 (神奈川大学教授)

横浜外国人居留地と赤煉瓦—近代遺跡調査の成果から

青木祐介 (横浜都市発展記念館主任調査研究員)

第2部 史跡巡り..... 13:00 ~ 15:00

山下居留地コース / 中華街コース / 山手居留地コース

【申込み方法】 大会プログラム添付の申込書により、シンポジウム終了までにお申込みください。(各コース70名)

外国人居留地 (きよりゆうち) とは...

幕末に欧米諸国と結ばれた通商条約によって、横浜は外国貿易のために開港されました。開港場(かいこうじょう)となった横浜には、現在の山下町と山手町に、外国人の営業・居住のためのエリアとして居留地が設けられ、貿易のみならず、西洋の産業・技術、生活・文化を取り入れる窓口となりました。横浜外国人居留地研究会は、居留地が国際都市横浜の発展に果たした役割を研究し、その成果を市民文化や街づくりに活かすための活動を行っています。

ホームページ：http://yokohama-fs.jimdo.com/

問い合わせ：yokosettle@yahoo.co.jp